

## 【会議結果】

会議名	令和4年度 第1回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和4年4月18日（月） 午前11時～12時05分
場所	碧南市役所 7階議員大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員15名（内代理出席3名） 事務局4名  （欠席：岩崎副会長、愛知県タクシー協会 潮田委員、名鉄バス株式会社 大野委員、碧南市身体障害者福祉協会 鈴木委員、碧南警察署 大脇委員、愛知県都市・交通局交通対策課 大林委員）
傍聴者	3名

### 議事

#### 1 市長あいさつ

- ・碧南市の公共交通は名鉄三河線、ふれんどバス、タクシー事業所2社、くるくるバスがあるが、いずれの公共交通も新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用者数は減少した。
- ・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、公共交通に関する計画の策定や実施が努力義務化されたことを受け、公共交通が目指す、持続可能な旅客運輸サービスについて検討していくため、地域公共交通活性化協議会を立ち上げることとした。
- ・碧南市の交通施策としては高齢者後付安全運転支援装置設置補助制度を設けてきたが、時代に合わせた施策として、高齢者の外出支援のために今年度から特定の高齢者にタクシーチケットの配布や、次世代自動車購入に対しての補助金を創設した。
- ・時代の変化に合わせた計画の協議を行っていきたい。

#### 2 役員任命

- ・碧南市地域公共交通活性化協議会設置規程第5条第2項に基づき、市長より会長を金沢委員（碧南市）に委嘱した。
- ・同規定第5条第2項に基づき、金沢会長が副会長に岩崎委員（四日市大学）を、監事に小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会）と鈴木委員（碧南市身体障害者福祉協会）を指名した。

#### 3 自己紹介

- ・各委員による自己紹介

#### 4 議題

##### (1) 碧南市地域公共交通計画の策定について

- 事務局

- ・資料「碧南市地域公共交通計画の策定について」により説明  
コンサルタント業者選定のため、プロポーザル審査を実施することとなった。  
プロポーザル審査については協議会で実施することになる。審査員について、  
検討したところ、事務局に一任することとなった。

#### 質疑応答

- 三島委員（碧南市老人クラブ連合会）  
くるくるバスの年間利用者数は。
- 事務局  
令和2年度の実績は年間約8万人である。
- 三島委員（碧南市老人クラブ連合会）  
バスの運賃が無料の市は。
- 事務局  
近隣だと刈谷市、幸田町が無料で運行している。
- 小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会）  
高齢者や免許を返納した方に対し、公共交通を利用してもらいたいという目的なのか。
- 事務局  
交通弱者に対して不便にならないように民間と公共合わせて計画を策定していく。
- 小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会）  
買い物や、通院など利用者のニーズは今後調べていく予定なのか。
- 事務局  
コンサル業者が決定したら、各種調査及び市民アンケート等で調査をし、結果を取りまとめ、計画を策定していく。
- 鳥居委員（市民公募）  
利用者の意見を聞いてきた。バスの降車スイッチの位置や、乗降時のステップの高さが高い。バスの本数を1時間に1本に増やしてほしい。バスに対しての意見箱を市民病院などに設置してほしい。市民病院に直通バスが欲しいなどの意見をいただいていたのでお願いしたい。
- 会長  
ご意見ということで、計画策定の参考にさせていただく。
- 壁谷委員（愛知県交通運輸産業労働組合協議会）  
ふれんどバスについて、碧南駅が現在改修中ということで、碧南駅に右折で進入する時に、植え込みがあり入りにくい場所があるため、広げていただきたい。  
合わせて、バスが発車する際に、左折で出ていくのだが、右後方が見にくくなっている。一般車や歩行者自転車結構通るため、確認のためのミラーの設置が欲しい場所がある。
- 中村委員  
予定としては、今年度、用地買収で碧南駅前を広くする計画である。その際に、植え込みは撤去し、一時駐車場として活用する予定である。

後方確認のミラーなどは、駅前全体が大きく変わるため、状況を見て個別に対応したいと考えている。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

改修などの工事の関係は、設計や計画ができあがってしまうと変更がきかないため、早い段階で交通業者の意見を聞けるようにしてほしい。

それから安全に関するものについては、早い段階での対応をお願いしたい。

○事務局

計画を策定していく段階において、計画ができるまで何もしないというわけではなく、安全に関する事など、その時々で取り掛かるべきものは計画ができる前でもその都度判断して、早いタイミングで対応していきたいと考えている。

○大林委員代理 赤羽氏（愛知県都市・交通局交通対策課）

協議会は今年度何回行われる予定か

○事務局

今年度は4回の予定

・採決 拍手多数により議題の承認

(2) 碧南市地域公共交通活性化協議会運営要綱（案）について

○事務局

資料「碧南市地域公共交通活性化協議会運営要綱（案）」により説明

・採決 拍手多数により議題の承認

5 その他

○長田委員（碧南商工会議所）

自動運転など技術革新についてかなり出てきているため、計画を策定している2年間で、内容が陳腐化してしまう可能性があるため、柔軟に対応していただきたい。市や国の財源だけではなく、企業に資金を募るのはどうか。

○事務局

技術革新について、この2年間で計画に盛り込むことは難しいかもしれない。市内の交通弱者の足の確保策ということで、将来的に新しい技術革新されたものを反映できるように計画の中に盛り込んでいきたいと考えている。

5か年の計画を策定するため、2か年かけて協議会で協議していく。計画策定後も進捗管理や、新しい技術革新の内容などを含め、改訂事項の検討などを行っていく。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

計画策定後は、目標や評価指針の実行に向けて活発な議論をしていただきたい。

閉会 12時05分終了